

HPV検査のご案内（ヒト・パピローマウイルス検査）

細胞診とHPV検査を併用することで、
(子宮頸がん検診)



子宮頸がん前がん病変の発見率が向上します

子宮頸がんは主に性交渉によりHPVに感染することで発症し、子宮頸部の細胞に異形成（前がん病変）を引き起こし、子宮頸がんに進行します。

細胞診(子宮がん検診)

子宮頸部から採取した細胞の「形」を顕微鏡で調べます。

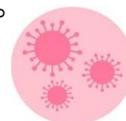
がん細胞だけでなく前がん病変の検出もできますが精度は100%ではありません。



HPV検査

子宮頸部から採取した細胞の「ウイルスの有無」を判定します。

細胞中のHPVの存在を直接調べることにより、子宮頸がんへの進展リスクを知ることができます。



• 検査の方法

細胞診とHPV検査どちらも子宮の入口の細胞をブラシで採取して検査します。

• HPV検査の料金

5,500円（税込）

※保険適応外となります。

• 細胞診とHPV検査を併用するメリット

- ①がんになる前（前がん病変）での発見率が向上します。
- ②前がん病変で見つけることができれば、子宮頸部のみ切除する手術(子宮腔部円錐切除術)で治すことが可能です。
- ③細胞診とHPVともに陰性なら検診間隔を3年に延長することができます。